

# 今も根強く残る

## 日本のアジア侵略正当化の思想

— アジアの人々が危惧する最近の日本の動きから —

北星学園教職員組合

公開講演会

平和教育の

今日的課題

を考える



### 高嶋 伸欣 (たかしま のぶよし)

琉球大学名誉教授 / 元 筑波大学附属高校教諭

1942年生まれ。高校教諭だった1975年以来、東南アジアでの皇軍による住民迫害を調査。その記述を削除させた検定に対し、横浜で教科書裁判を提訴(1993)。一番は勝訴、高裁・最高裁(2005)は敗訴。81年度「日本史」教科書検定で沖縄戦住民虐殺の記述削除以来、07年の「集団自決」歪曲検定への抗議など、沖縄と教科書問題にも取り組んでいる。『旅しよう東南アジアへ』『教育勅語と学校教育』(いずれも岩波ブックレット)、『教科書はこう書き直された!』(講談社)、『拉致問題で歪む日本の民主主義』(スペース伽耶)など著書多数。

**10/14(土)**

**17:10 ~ 18:40**

**北星学園大学**

**C館C500教室**

東西線大谷地駅 徒歩5分

入場無料 (予約不要)

平和教育の必要が高まっている「いま」は、平和教育の困難が高まっている「いま」でもあります。初等・中等・高等教育で、また社会教育において、平和教育が直面している今日的課題を共有するとともに、その克服について共に考えてまいりましょう。

主催：北星学園教職員組合 平和委員会&教育委員会 takashima1014@hokusei-s-h.ed.jp